

旧制長崎県立佐世保中学校沿革史概要(ウィキペディアより)

1908年(明治41年)	8月	佐世保市中通免に(通称:草木ヶ原、現・佐世保市立清水小学校)に長崎県立佐世保中学校が設置される。
1909年(明治42年)	4月	長崎県立佐世保中学校開校。第1回入学生110名。校訓五則を制定。
	11月	校歌を制定。
1913年(大正2年)		第1回大運動会を開催。
1914年(大正3年)	3月	第1回卒業式を挙げる。
	11月	校旗を制定。
1918年(大正7年)	10月	第1回修学旅行を実施。5年生(最高学年)。目的地は長崎・島原。
1923年(大正12年)	4月	佐世保市立夜間中学校を併設。
1924年(大正13年)		外地への修学旅行を実施。目的地は第18回生までが朝鮮安東、19回生以降が満州奉天・旅順・大連。
1941年(昭和16年)	4月	日宇(通称:董ヶ丘、現・佐世保南高校)に木造2階建ての新校舎が完成し、移転を開始。
1943年(昭和18年)	10月	同窓会より、同窓会館兼図書館が寄贈。
1944年(昭和19年)	5月	学徒動員開始。海軍工廠、二十一空廠兵器部、弾薬庫などに動員。
1945年(昭和20年)	3月	同窓会館兼図書館が二十一空廠兵器部分工場として終戦まで接收される。
1947年(昭和22年)	2月	寄宿舎を焼失。
	3月	通信教育部を併設。
	4月	学制改革による新制高等学校発足を1年後に控え、旧制中学1年生の募集を停止し、2・3年生を新制の併設中学校に収容。4・5年生は旧制中学校在籍のままとする。
1948年(昭和23年)	3月	最後の卒業生(36回生)を送り出し、旧制佐世保中学校が閉校。

長崎県立佐世保第一高等学校沿革史概要(ウィキペディアより)

1948年(昭和23年)	4月	学制改革により、「長崎県立佐世保第一高等学校」(男子校)となる。併設中学校卒業生(38回生)を新高校1年生、旧制中学5年生(37回生)を新高校2年生、旧制中学卒業生(36回生)の中で希望者を新高校3年生とする。
	11月	ニブロ米占領軍軍政部教育官の方針により、佐世保市内の普通科高等学校5校を統合の上、小佐世保川を境に男女共学の「長崎県立佐世保北高等学校」と「長崎県立佐世保南高等学校」を設置することが決定。5校の併設中学校も、佐世保南・北の2校に統合される(1946年(昭和21年)に旧制中学へ最後に入学した39回生は1949年(昭和24年)3月に併設中学校を卒業後、4月から新高校1年生となる。同時に併設中学校が廃止。)